



一般社団法人 日本歯内療法学会 協力団体 (専門医の申請・更新に必要な点数が付与されます)

# 西日本歯内療法学会 研修会 (高松) (後援：香川県歯科医師会)

2026年5月10日 (日) 13:00-17:00 (受付12:30~)

会場：香川県歯科医師会館 (歯科医療専門学校7階 8020ホール)

実行委員長：大石 慶二 (高松市)

講師 稲本 雄之 (兵庫県開業)

## CBCTにおける偶発所見と形態異常歯の歯内療法

近年CBCTが歯科臨床で広く応用されてきています。歯内療法目的で撮影された場合は患歯とその周囲の歯槽骨のみ読影されているケースが少なくないように思われますが、撮影が広範囲に及ぶ場合は、撮影範囲内にある詳細な解剖学的形態を確認する必要があります。目的外である歯や上顎洞などに偶発所見が認められることもあるからです。今回は、CBCTにおける偶発所見について例を挙げて注意喚起を促すとともに、CBCTを撮影していなければ歯内療法が困難であった歯内歯などの形態異常歯のケースも合わせてご紹介することによって先生方の臨床にお役に立てれば幸いです。

講師 永原 隆吉 (日本鋼管福山病院)

## ペリオだけじゃない！エンドも関連するセメント質剥離のアップデート

セメント質剥離は、急速な歯周組織破壊を惹起し、歯周疾患や歯内-歯周病変、垂直性歯根破折などと類似した臨床像を呈するため誤診されやすい疾患である。本疾患は歯髓生活性を保つ症例も多いが、剥離部位や感染経路により歯内疾患を併発することがあり、歯内療法的評価が重要となる。本発表では、臨床的特徴、画像診断、発症メカニズムおよび治療戦略について最新知見を概説し、症例を通じて歯周・歯内の包括的アプローチの重要性を考察する。さらに剥離片の位置や骨欠損形態に応じた治療選択と歯の保存の可能性について検討する。

講師 木ノ本 喜史 (大阪府開業・大阪大学大学院歯学研究科臨床教授)

## 根管解剖の知識のアップデート

CTの普及によって、これまで常識と考えられていた根や根管の数の割合が決して100%であるわけではなく、かなりの頻度でさまざまな形態を有していることが明らかになってきている。また、最近では日本人のCT像を解析した結果が報告されており、毎日の患者の診療に役立つデータを示していると考えられる。この歯種は1根管である、と思い込んでいると2根管目を見つけることはほとんど不可能である。対象とする歯種における最大数の根管とさまざまな根管の形態を理解して治療を始めることが重要である。今回は根管解剖の知識をアップデートするために、67/2467の新常識について解説したい。

特典：JEAに当日入会される方は研修会費が無料になります  
入会金¥5,000と初年度年会費 (一般¥12,000、準会員¥6,000) をご用意ください

### 受講料

香川県歯科医師会会員：無料  
DH/DA/大学院生/学生：無料  
上記以外の歯科医師：¥5,000 (会費は当日徴収します)

お問い合わせは  
kinomoto@kinomoto-shika.com  
(木ノ本喜史)



事務局HP

<http://west-japan-endo.seesaa.net>

参加申込みはインターネットから

<https://forms.gle/xXPbaDEi9VxA1Kd87>

